

## NPO 法人 日本乳がん情報ネットワーク(JCCNB)

### 2006・2007年活動計画

NPO 法人日本乳がん情報ネットワーク (JCCNB) は、乳がんに関わる医療関係者を中心に、乳がんに関する内外の最新方法の収集・提供、関連団体との連携、患者の選択支援及び臨床試験の推進に関する事業を行い、もって乳がんの治療水準の向上を図るとともに、わが国における乳がんの克服に寄与することを目的とします。具体的には、癌の世界水準に追いつくことから始め、多様な乳がん治療に関する国際情報を可及的速やかに、医療に携わる人達や自立した乳がん患者にネットを通じ、また、シンポジウムを通じて発信することを目指すものです。

#### がん臨床研究事業

JCCNB では、平成 18 年度より平成 20 年度迄 3 ヶ年計画で「乳癌治療におけるグローバルスタンダードの導入と質的評価検討に関する研究」と題して研究事業を実施検討します。

目的としては \* 世界の標準治療を遅滞なく配信するシステムを WEB 上に構築する。  
\* 世界の標準治療を遅滞なく臨床の現場に最新のエビデンスを浸透させることで医療の質の向上、均てん化を促進し医療の質を評価し向上させたい。

具体的には以下の案を実施する予定です。

#### 1) NCCN の癌に関するガイドラインを日本語に翻訳し WEB に掲載

##### NCCN の乳がん関連ガイドライン

1. 乳癌 (Breast Cancer) (2007 年 1 月掲載予定)
2. 「NCCN 医薬品 & 生物製剤概論」(8 月掲載済み)【登録が必要】
3. 乳癌のスクリーニングおよび診断 (Breast Cancer Screening Diagnosis) (12 月掲載予定)
4. 遺伝的要因/家族歴がある場合のリスク評価が高い癌: 乳癌および卵巣癌 (2007 年 3 月掲載予定)  
(Genetics/Familial High-Risk Assessment: Breast and Ovarian)
5. 乳癌に伴うリスク減少 (Breast Cancer Risk Reduction) (未定)

##### NCCN の補助療法に関するガイドライン

1. 悪心・嘔吐対策 (Antiemesis) (2 月掲載済み)
2. 癌治療における骨髄増殖因子 (Myeloid Growth Factors) (5 月掲載済み)
3. 成人がん性疼痛 (Adult Cancer Pain) (12 月掲載予定)
4. 高齢者がん (Senior Adult Oncology) (2007 年 3 月掲載予定)

#### 2) 研究会・講演会の開催

専門家により、日本の実情に照らし合わせて、日米の診療ガイドラインの相違点を抽出する。ガイドラインの根幹が共有できれば将来、医療の質を評価し向上させるうえでベンチマークも可能となる。

#### Part I

日 時: 2007 年 1 月 13 日 (土)、14 日 (日)

場 所: 湘南国際村センター

対 象: 医師 限定 45 名

テーマ: 外科治療、放射線治療、がん緩和ケア治療

出席者: 日本~中村清吾、岩田広治 等 米国~S. B. Edge 等 3 名

主 催: NCCN と JCCNB との共催

参加費: 無料 但し宿泊を原則とします。(詳細は参加申込書をご覧ください。)

## Part II

日 時：2008年1月27日（土）、28日（日）

場 所：都市センターホテル

対 象：医師 限定45名

テーマ：薬物療法（化学・ホルモン療法）、がん緩和ケア治療

出席者：日本～藤原康弘 等 米国～R. W. Carlson 等3名

主 催：NCCNとJCCNBとの共催

参加費：無料

## JCCNB事業

### 1)国際シンポジウム

#### ①設立記念国際シンポジウム開催

日 時：2005年9月11日 実施

##### 第1部「乳がん治療に関する日米ガイドラインについて」

約10年前より米国の主要がんセンターが共同して策定しているNCCN（National Comprehensive Cancer Network）の乳がん診療ガイドラインを翻訳・出版した。そこで、本シンポジウムでは、ガイドライン策定に関わった日米の専門家を招聘し、各ガイドラインの特徴を概説していただいた上で、その普及啓蒙および継続的に内容の向上を図るための方策を議論した。

##### 第2部～田原節子メモリアルシンポジウム

「炎症性乳がんの診断と治療」

もっとも厄介な乳がん、炎症性乳がんに焦点をあて、その研究と治療の最先端を探りながら、今後の乳癌治療について討議・考察した。

#### ②非浸潤性乳管がん（DCIS）～治療の可能性と限界

日 時：2006年10月15日 実施

最初の治療計画で十分な局所制御（局所再発の防止）を達成するための納得がいくDCISの治療選択について討議した。

### 2)研究会

一応以下の予定であります。タイムリーな事柄が生じた場合には計画変更又は順延と致します。

#### ①がん治療薬の適正使用（Part I）

月 日：5月中旬

場 所：トイスラホール

テーマ：1)がん治療薬の副作用とその対応策

2)医療用麻薬の適正使用

3)後発医薬品

対 象：医師・患者・薬剤師

#### ②がん治療薬の適正使用（Part II）

月 日：9月中旬

場 所：トイスラホール

テーマ：1)がん治療薬の副作用とその対応策

2)医療用麻薬の適正使用

3)後発医薬品

対 象：医師・患者・薬剤師